

開催趣旨及び議論の進め方について

令和5年6月6日
経済産業省製造産業局
航空機武器宇宙産業課

1. 開催趣旨

我が国の航空機産業は、ライセンスに基づく国内生産、国産航空機の開発・量産等の防衛航空機分野の事業を通じて、航空機の開発・製造に必要な技術を獲得、向上してきた。

この間、民間航空機分野については、戦後初の国産旅客機 YS-11 の開発の後、主として、1980年以降の機体構造、航空機エンジンの国際共同開発への参加を通じて、その事業規模を拡大してきたところである。

2008年以降、半世紀ぶりの完成旅客機開発に取り組んできたところであり、経済産業省としても2014年に航空機産業戦略を策定し、完成機事業を軸とした成長および国際共同開発への参画による成長基盤の確保の観点から取組を推進してきた。

一方で、国際民間航空機関（ICAO）における2050年カーボンニュートラル達成の目標合意、デジタル技術活用の進展、サプライチェーンリスクの顕在化、スタートアップによる新たな市場創出に向けた動きの加速といった国際的な動向や完成旅客機開発の中止等、航空機産業を取り巻く環境が近年大きく変容している。

こうした環境変化を踏まえ、航空機宇宙産業小委員会（以下、「小委員会」）を開催し、我が国航空機産業の更なる成長に向けた方針を議論する。

2. 検討スケジュール（予定）

○6月～8月：

小委員会において、航空機産業の更なる成長に向けた方針とその実現に向けた重点検討課題を整理

○8月以降：

重点検討課題について、必要に応じてWG等を設立し討議

○本年度内：

WG等における重点検討課題の討議結果を小委員会において議論

3. 当面の議論の進め方（※平成28年開催分を第1回とする）

○第2回（本日）

我が国の航空機産業の現状、国際的な環境変化及びそれを踏まえた今後の方向性について討議

○第3回（7月上旬）

我が国の航空機産業の付加価値向上（縦の成長）に向けての方針と検討課題について討議

○第4回（7月下旬）

我が国の航空機産業の市場規模拡大（横の成長）に向けての方針と検討課題について討議

○第5回（8月上旬）

重点検討課題について討議

※なお、各回とも事務局（経済産業省）からの説明に加え、産官学より適切な者を招き、論点提起のためのプレゼンテーションを予定。